

報告 市政 小さな声を市政に反映 「児童・生徒の医療的ケア支援」が実現

川崎市議会議員（公明党） 山田はるひこ

小さな声を聞く力/それを市政に反映すること—これは私の議員としての信条の一つです。

それがこの度、教育現場で実現しました。内容は小中学校の看護師による医療的巡回ケアの実施です。

例えば糖尿病を抱える子

どもがいるとします。定期的なインシュリン注射が必要で、毎日保護者が付き添いサポートしなければなら

ない。保護者にとって子どもが第一であることは当然

ですが、1日も気の休まる

日がない精神的な負担や就

労機会が得られない経済的

な負担は少な

くありません。そこでそ

の一部分の負担

でも軽減でき

ないか、と22

年度の議会で

質し、全国に

先駆けて24年6月から看護師が週に1度小中学校を巡回し、医療的なケアを実施することとなりました。（看護師による医療的ケア支援事業）

この声は市内では一握り、

該当するのは十数人程度で

す。しかし、市民が安心して暮らせる市政を進める上

で、少数だからと見過ごし

てはならないことです。

エスコートゾーン

の設置を

現在、進めているのが、

視覚障がい者が安心して横

断歩道を歩けるようにする

誘導ブロック、エスコートゾーンの設置です。都内に400カ所以上設置されたものが、市内では1カ所もありません。この件に関して先の議会でも市を厳しく質しました。結果、市から「所管する県警と連携を図り、関係局区と課題解決に向け検討する」との答弁を得ました。

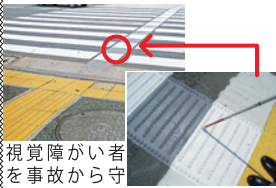
これからも、市民にとって大切な「小さな声」を市政に活かしてまいります。



山田 はるひこ

山田はるひこ公式web

検索



視覚障がい者から誘導する「エスコートゾーン」。路面の凹凸で横断歩道を誘導する